

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	公園の見回り回数	回	職員で実施した見回り回数	目標 実績	24 24	24 24	24 24
	作業点検依頼件数	件	シルバー人材センターに作業を依頼した件数	目標 実績	12 12	12 12	12 12
成果指標	年間の草刈回数	回	年間の草刈回数	目標 実績	12 12	12 12	12 12
	展示館の入館者数	人	展示館の入館者数	目標 実績	2,000 1,608	2,000 1,469	2,000 1,469

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

市民の地域学習等利用に供する場所として、様々な機能を兼ね備えており、利用者にとっては貴重な役割を持つものである。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

施設管理運営業務に関しては、おおむね例年どおり、実施運営できた。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

管理運営業務に関して、各種教育機関と協力し、施設の充実・特性を生かしたイベントの企画により、観光ニーズを捉えた施設運営に務める。

■課題と対応方策

課題	市民の地域学習・余暇の充実等の利用に供す場として、特色を持った運営が必要である。また、施設の老朽化に伴う修繕及び展示替えが必要である。
次年度における対応方策(改善方策)	施設管理委託者と連携を持ちながら施設運営にあたる。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	発掘調査、試掘調査の出土品などを活用し、ある程度の期間毎に展示替えを行える体制をとる。また、新しいファン層が開拓できるような催しを企画、実施する。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	生涯学習課 中泉栄一 担当課名 郷土資料館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	市民や地域住民に展示館の存在自体を周知する。また、埋蔵文化財専門の郷土資料館分館的な位置づけと考え、定期的に展示替えが行えるような体制作りを検討していく。

二次評価【部長評価】	
部長名	小松塚隆雄 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	市民学芸員など、市民との協働も視野に入れて、施設の魅力づくりに取り組んでください。

※事務事業コード／ 0110040302

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 郷土資料館	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100403文化振興費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3411
事業名	02文化財保護事業						
目的 (成果)	市の財産である文化財の保護に努め、その価値を市民に理解してもらうため、文化財を活用・伝承するような事業を展開する。						
内容 (概要)	文化財の保護、活用・伝承に関する各種補助事業及び委託事業や文化財の調査・研究・指定・公開に関する各種事業						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	椎名住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の各種公開事業、指定文化財指定事業、文化財保護審議会事業、文化財説明板修繕、製作等			椎名住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の各種公開事業、指定文化財指定事業、文化財保護審議会事業、文化財説明板修繕、製作等			椎名住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の各種公開事業、指定文化財指定事業、文化財保護審議会事業、文化財説明板修繕、製作等			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他			
	一般財源	4,024,083		一般財源	2,010,136		一般財源	1,860,000		
計	4,024,083		計	2,010,136		計	1,860,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	01	報酬	165,000	01	報酬	270,000	01	報酬	240,000	
	08	報償費	445,000	08	報償費	415,000	08	報償費	515,000	
	09	旅費	11,800	09	旅費	130,200	09	旅費	11,000	
	11	需用費	151,984	11	需用費	255,277	11	需用費	65,000	
	13	委託料	683,949	13	委託料	668,849	13	委託料	746,000	
	19	負担金、補助及び交付金	2,566,350	19	負担金、補助及び交付金	270,810	19	負担金、補助及び交付金	283,000	
		決算額計	4,024,083		決算額計	2,010,136		予算現額計	1,860,000	0
(参考)	H24当初予算額	4,229,000		H25当初予算額	1,925,000		伸び率(%) 対・決	-7.5	対・予	-3.4
人件費	職員人件費 0.90 人工	7,261,000		職員人件費 0.70 人工	5,641,000		職員人件費 0.65 人工	5,013,000		
総事業費	歳出+職員人件費	11,285,083		歳出+職員人件費	7,651,136		歳出+職員人件費	6,873,000		

【特記事項】

○25年度主な支出
 指定文化財公開・管理謝礼 415,000円
 市所有の遺跡等の草刈り作業委託 287,500円
 出島の椎延命対策事業委託 281,599円
 文化財保護審議会委員報酬 270,000円

※25年度需用費の増については、志筑城址入口の舗装補修工事を行ったため。25年度補助金の減については、24年度に椎名家住宅修理補助金を交付したため。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	市内文化財巡視活動	回	椎名家住宅、出島の椎等市内の文化財の現況を掌握するため、巡視活動を実施する	目標	12	12	12
				実績	12	12	
成果指標	文化財保護事業に関する補助事業及び委託事業 文化財の公開に関する事業の実施	件	国指定文化財重要文化財椎名家住宅、県指定文化財出島のシイ、無形民俗文化財の補助をする。 ①公開謝礼の実施②指定文化財一斉公開日の実施③富士見塚古墳公園展示館への展示公開	目標	3	3	3
				実績	3	3	3

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

市内に残る文化財を保護、伝承し、市民の文化財に対する意識の高揚を図ることで、地域の先人たちやふるさとに対する誇りと愛情を再構築することができる。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

市内に残る文化財を保護、伝承し、市民の文化財に対する意識の高揚を図ることで、地域の先人たちやふるさとに対する誇りと愛情を再構築することができる。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

文化財の所有及び管理にかかる経済的な負担に報いるための、物心両面での評価が必要である。

■課題と対応方策

課題	経年劣化等により、修繕が必要な指定文化財建造物があるが、修繕のための補助金を受けることが難しい。また、もし補助金の交付を受けられても、所有者の自己負担分の支出が厳しい。
次年度における対応方策(改善方策)	修理費の削減についての検討と、なるべく補助率の有利な補助金等を確保できるよう努める。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	今後の建物の所有、管理の方策について、経済的な面を含め、所有者と市で協議を重ねる。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	生涯学習課長 中泉栄一 担当課名 郷土資料館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	指定文化財をただ保護・伝承するだけでなく、活用・情報発信する事業を企画し、文化財の理解者を広める。

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	引き続き、より多くの人たちから、文化財への理解と興味が得られるような企画をしてください。		

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	埋蔵文化財の必要性に関する周知活動	件	①ホームページ②広報紙への掲載③開発部局との連携	目標	3	2	2
				実績	1	2	
成果指標	指導に関しての苦情件数	件	年度内の指導に関しての苦情件数	目標	0	0	0
				実績	1	1	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>
市内に残る文化財を保護・伝承し、市民の文化財に対する意識の高揚を図ることで、地域の先人たちやふるさとに対する誇りと愛情を再構築することができる。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>
市内に残る文化財を保護・伝承し、市民の文化財に対する意識の高揚を図ることで、地域の先人たちやふるさとに対する誇りと愛情を再構築することができる。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>
調査補助員・調査作業員・整理事業員の育成に務め、試掘調査及び整理事業の効率化を図る。

■課題と対応方策

課題	試掘・発掘調査で出土した遺物については、現在、千代田公民館裏プレハブ倉庫とサテライト、郷土資料館大手門に保管しているが、プレハブ倉庫については建物が老朽化し、床や屋根が抜けて埋蔵文化財収蔵庫の役割を担っていない現状がある。別の埋蔵文化財収蔵庫を確保したい。
次年度における対応方策(改善方策)	学校統廃合、FMに関連付けて、空き施設若しくは将来空き施設を収蔵庫に確保できるよう検討し、関係部署に働きかける。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	収蔵庫を確保し、埋蔵文化財を貴重な財産として整理・保存し、後世に伝えていく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	生涯学習課長 中泉栄一 担当課名 郷土資料館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	埋蔵文化財の所在の有無の照会があった場合は、今までどおり、速やかに、適正に対応する。また、松山瓦窯跡及び松山廃寺遺跡の今後の対応について検討し、関係部署と協議を重ね、その方向性を決める。

二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	埋蔵文化財の調査の必要性について理解を深めるためにも、より多くの人たちから、文化財への理解と興味を得ることが必要です。		

※事務事業コード／ 0110040304

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 郷土資料館	事業年度期限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (平成 年度～平成 年度)
会計	一般会計	款・項・目 100403文化振興費	新規／継続 (事業区分1)	継続
事業名	04文化芸術振興事業		市民協働	市民の関与
目的 (成果)	創作・発表意欲の向上、市民文化意識の高揚を図るため、文化・芸術団体及び愛好者育成及びその活動を支援する。			
内容 (概要)	文化協会を支援し、各種事業を実施するとともに、協会加盟団体の活動を支援している。			
			総合計画コード	3413

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算		平成25年度 決算		平成26年度 予算			
事業内容	文化協会各種事業(文化協会祭等イベントの参加の促進、各種会議の開催、広報紙の発行、視察研修の実施、補助金の交付、月例展示会の実施など)		文化協会各種事業(文化協会祭等イベントの参加の促進、各種会議の開催、広報紙の発行、視察研修の実施、補助金の交付、月例展示会の実施など)		文化協会各種事業(文化協会祭等イベントの参加の促進、各種会議の開催、広報紙の発行、視察研修の実施、補助金の交付、月例展示会の実施など)			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	1,509,850	一般財源	1,334,061	一般財源	1,461,000		
計	1,509,850	計	1,334,061	計	1,461,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	09	旅費	0	09	旅費	0		
	11	需用費	0	11	需用費	8,061		
	12	役務費	42,850	19	負担金、補助及び交付金	1,326,000		
	19	負担金、補助及び交付金	1,467,000					
	決算額計	1,509,850	決算額計	1,334,061	予算現額計	1,461,000	0	
(参考)	H24当初予算額	1,524,000	H25当初予算額	1,465,000	伸び率(%) 対・決	9.5	対・予	-0.3
人件費	職員人件費 0.70 人工	5,648,000	職員人件費 0.80 人工	6,447,000	職員人件費 0.43 人工		3,316,000	
総事業費	歳出+職員人件費	7,157,850	歳出+職員人件費	7,781,061	歳出+職員人件費		4,777,000	

【特記事項】
 ○25年度主な支出
 文化協会補助金 1,300,000円
 ※文化協会加盟団体
 10部門 49団体 1,041人
 ※補助金については、25年度から公募型補助金となり、補助対象経費が絞りこまれたため、減額となった。役務費(人材バンク登録者保険料)については、組織の改編により、25年度から「生涯学習推進事業」に計上。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	各種会議の開催	回	文化協会総会、理事会など	目標 実績	6 6	8 8	8
	市広報紙への記事掲載	回	活動記事、団体紹介記事	目標 実績	12 12	12 10	0
成果指標	かすみがうら祭への参加団体数	団体	文化協会加盟団体のみ	目標 実績	53 18	53 18	53
	月例展示会への参加団体数	団体	文化協会加盟団体のみ	目標 実績	11 11	11 11	11

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務) B:普通 C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

平成25年度、文化協会加盟団体49団体、会員数約1,041名と多くの市民が参加している。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

あじさい館ホール月例展示会は大盛況であり、あじさい館を訪れる人々の目を楽しませると同時に、創作意欲の向上に貢献している。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

文化協会が、任意団体として自主運営できるよう、的確に指導していく。

■課題と対応方策

課題	文化協会が自ら主催する独自の事業の実施し、事務処理や運営等も自主的に活動できるように進める。
次年度における対応方策(改善方策)	文化協会主催の文化協会祭の自主運営での開催を目指す。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	文化協会が中心で自主運営で行う市民文化祭の開催を目指す。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	生涯学習課長 中泉栄一 担当課名 郷土資料館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	会員の高齢化等により文化協会加盟団体の会員数が減少している状況がある。関係部署と連携し、新しい文化団体の誕生、育成を支援するとともに、既存団体にも新規入会者が入るための支援をしていく。

■二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
	自主性の尊重とあわせ、地域の文化振興の担い手として組織が活性化できるよう支援してください。		

※事務事業コード／ 0110040305

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 郷土資料館	事業年度期限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (平成 年度～平成 年度)
会計	一般会計	款・項・目 100403文化振興費	新規／継続 (事業区分1)	新規
事業名	05帆引き船市文化財指定調査事業		市民協働	行政の関与
目的 (成果)	「霞ヶ浦帆引き船と帆引き網漁法」文化の保存継承を推進とPRを推進する。			
内容 (概要)	霞ヶ浦帆引き船と帆引き網漁法の調査研究と帆引き船保存会の育成指導を行う。			
	(単位:円)			

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容							指定文化財事例調査、帆引き船保存会支援			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他	841,000		
	一般財源	0		一般財源	0		一般財源	513,000		
計	0		計	0		計	1,354,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
							09	旅費	64,000	
							19	負担金、補助及び交付金	1,290,000	
	決算額計		0	決算額計		0	予算現額計	1,354,000	0	
(参考)	H24当初予算額		0	H25当初予算額		0	伸び率(%) 対・決	皆増	対・予	皆増 +
人件費	職員人件費	人工	0	職員人件費	人工	0	職員人件費	0.31 人工		2,390,000
総事業費	歳出+職員人件費		0	歳出+職員人件費		0	歳出+職員人件費			3,744,000

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	保存会の育成	団体	霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の育成	目標			1
				実績			
成果指標	文化財の指定	件	帆引き船・帆引き網漁法の市の無形民俗文化財としての指定	目標			1
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
目標達成状況の点検	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
実施内容・方法の点検	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】□	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方策

課題	無形民俗文化財の指定については、後継者育成や帆引き網漁法の検証が必要である。
次年度における対応方策(改善方策)	帆引き船保存会や市観光商工課、漁業協同組合等、関係機関と連携を取りながら、年度内の帆引き網漁法の市指定無形民俗文化財指定を目指す。同時に帆引き船を運航する近隣三市(土浦市・行方市・かすみがうら市)と連携を取りながら県指定文化財指定の準備を進める。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	県指定文化財指定をを目指す。さらに国指定文化財や世界遺産の登録を目指した活動を進める。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	生涯学習課 中泉栄一 担当課名 郷土資料館
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	帆引き船の理解者を増やし、一步一步着実に目標を達成するよう事業を進めていく。

■二次評価【部長評価】

部長名	小松塚隆雄	担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認		
市と、保存会及び各種団体の役割を、共通理解したうえで、連携による協働関係を深める必要があります。			

※事務事業コード／ 0110040502

平成 26 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 郷土資料館	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100405郷土資料館費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード 3411
事業名	02郷土資料館管理運営事業						
目的 (成果)	かすみがうら市の歴史を踏まえ関連ある各種資料の収集、整理保存、調査研究を主体的に推進する。それにより、市内外からの来館者増につなげる。						
内容 (概要)	郷土資料館の運営と施設管理を行う。						

■事業費 (単位:円)

	平成24年度 決算			平成25年度 決算			平成26年度 予算			
事業内容	講座の企画運営、企画展の企画運営、資料館運営協議会の開催、資料館受付業務、施設管理ほか。			講座の企画運営、企画展の企画運営、資料館運営協議会の開催、資料館受付業務、施設管理ほか。			講座の企画運営、企画展の企画運営、資料館運営協議会の開催、資料館受付業務、施設管理ほか。			
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他	1,264,000		
	一般財源	7,820,366		一般財源	6,388,784		一般財源	6,610,000		
計	7,820,366		計	6,388,784		計	7,874,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	01	報酬	220,000	01	報酬	205,000	01	報酬	265,000	
	07	賃金	588,240	07	賃金	766,990	07	賃金	1,722,000	
	08	報償費	224,552	08	報償費	169,450	08	報償費	220,000	
	09	旅費	79,800	09	旅費	49,940	09	旅費	112,000	
	11	需用費	3,761,781	11	需用費	3,028,526	11	需用費	2,955,000	
	12	役務費	477,695	12	役務費	277,887	12	役務費	511,000	
	13	委託料	2,374,668	13	委託料	1,797,489	13	委託料	1,970,000	
	14	使用料及び賃借料	30,030	14	使用料及び賃借料	28,902	14	使用料及び賃借料	32,000	
	18	備品購入費	8,000	18	備品購入費	9,000	18	備品購入費	9,000	
	19	負担金、補助及び交付金	48,000	19	負担金、補助及び交付金	48,000	19	負担金、補助及び交付金	48,000	
	27	公課費	7,600	27	公課費	7,600	27	公課費	30,000	
		決算額計	7,820,366		決算額計	6,388,784		予算現額計	7,874,000	0
(参考)	H24当初予算額	7,325,000		H25当初予算額	6,791,000		伸び率(%) 対・決	23.2	対・予	15.9 +
人件費	職員人件費 1.70 人工	13,717,000		職員人件費 1.40 人工	11,283,000		職員人件費 0.95 人工		7,327,000	
総事業費	歳出+職員人件費	21,537,366		歳出+職員人件費	17,671,784		歳出+職員人件費		15,201,000	

【特記事項】

○25年度主な支出
 光熱水費 1,667,104円
 印刷製本費 890,505円
 資料目録作成等賃金 766,990円
 燻蒸処理作業委託 498,750円

※25年度委託料の減については、燻蒸処理作業の範囲を狭めた(収蔵庫⇒燻蒸庫)こと等による。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標	講座参加者の増	人	参加者の増加の見込める講座を企画する	目標	120	130	500
				実績	340	1,048	
成果指標	郷土資料館の年間来館者数の増加	人	企画展、特別展等で増加が見込める企画プランを考える	目標	13,000	12,000	11,000
				実績	10,490	10,688	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

A:高い(義務) B:普通 C:低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

郷土資料館はかすみがうら市内外に情報発信するうえで、きわめて重要な施設である。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

講座の目標設定が募集人員に対し、講座数や回数が変動するため延べ人数で実績を計上している。

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

A:見直す余地があり直ぐに実施 B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

来館者の増加のために、広報活動及び告知を一層進める。

■課題と対応方策

課題	現在、正職員3名で、生涯学習課文化振興係と郷土資料館の業務を兼務でこなしているため、マンパワーが不足している。
次年度における対応方策(改善方策)	臨時職員を活用しながら、特別展や各種講座や催し等の企画、実施に関しては、民俗資料調査員や市民学芸員の支援を受けて、事業を展開していく。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	職員数の確保とあわせ、市民協働による事業展開や業務内容、手法の見直しを進めていく。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	生涯学習課長 中泉栄一 担当課名 郷土資料館
事業の方向性	<input type="radio"/> このまま継続 <input checked="" type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止(年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	計画した事業を着実にこなしていくと同時に、来年度以降に向けて、新しいファン層が開拓できるような事業の企画をする。

二次評価【部長評価】	
部長名	小松塚隆雄 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	地域・市民との連携や、業務委託の推進なども検討し、マンパワーの確保により、引き続き事業推進に努めてください。